

文化発表会中には陸上競技部が全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会に臨んでいました。1日目、2日



目と文化発表会中に速報が入ってきて、ハンマー投で山口選手が64m台のベスト記録で優勝、3位に伊藤選手が入るなど幸先の良いスタートを切りましたが、八種競技の三和選手の得点が伸び悩み5位でプラスα待ちという状態、棒高跳も8位、4×100mリレーが7位とあと一步の状況で重苦しさもあったようです。しかしながら円盤投で山口選手が優勝、100mで藤原選手が6位と全国大会出場を決め、精一杯の力を出しての戦いが続く中、迎えた3日目、2年生の小島選手が走高跳で堂々の2m越えて優勝。19日の神戸新聞にも写真入りで掲載されました。県大会まであまり調子が上がらず苦戦続きでしたが、ここへ来てようやく調子も上向き、予選から快調な跳躍で決勝進出。決勝では練習跳躍がうまくいかなかったものの修正が効いて、決勝で1m98を跳んで6位以内を決め

てから気持ちよく2m01にチャレンジし、一人だけクリア。優勝を決めたそうです。おめでとございます。大会4日



目は、応援に行けたので、会場の緊張感あふれる雰囲気を感じながら見ました。三段跳の藤本選手は、予選の1回目で、いきなり

15mを超えるビッグジャンプを披露。一発で予選通過し期待を抱かせてくれました。決勝は風の向きが変わる難しいコンディションに各選手が苦戦する中、それでもうまくまとめて5位入賞。辛抱強い試合で全国大会出場を決めました。110mHの酒井選手は、(写真中、一番左の選手)準決勝をスタートで苦戦しながらものいだ結果、決勝では見違えるハードリングで上位に食い込み4位入賞で全国大会出場を決めました。昨年の近畿新人で優勝した400mHでの出場を県大会直前の体調不良で逃しただけに、3週間この勝負にかけてきましたが見事突破。2人ともおめでとございます。そして三和選手のプラスαも決まり、7名の選手が全国大会出場を決めました。残念ながら突破できなかった選手も調整の難しいこの梅雨の時期の大会ですが、よく頑張ってくれました。また、男子総合2位、フィールド優勝もついてきたようで、全国大会に向け弾みがつきました。引率の先生方もご指導ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

柔道部は県大会ベスト8以上の選手たちが国体予選に臨みました。女子48kg級の横山選手(写真中)は、52kg級の選手と対戦し見事勝利を収め、兵庫県代表選手に選ばれたそうです。写真両脇の男子無差別級神戸選手、90kg級高橋選手はそれぞれ2位に入り、国体選手には選出されなかったものの県チャンピオンを倒すなど納得の試合だったようです。お疲れ様でした。



放送部の永藤さんはアナウンス部門県大会準決勝に出場。見事決勝進出を果たし、優良賞をいただいたそうです。残念ながら全国大会出場はなかったようですが、よく頑張りました。お疲れ様でした。

文化発表会という大きな行事を一つ終え、生徒の皆さんは少し自らの成長を感じることができたのではないのでしょうか。仲間と協力して準備したこと、ステージ発表を頑張ったことなど思い出に残る行事だったと思います。今の気持ちを大切に、これからの行事もひとつひとつ皆で作りに上げいきましょう。また部活動の方は、早いところでは新旧交代が進んできているところもあるようです。生徒会がこの文化発表会を機に5月末に選出された新役員に引き継ぐのと同じく、総体終わりで2年生に引き継がれた部もあるでしょう。2年生はこれからいろいろなところで出番が増えてきますので、自分を見失うことなくしっかりと役割を果たしてください。1年生はそろそろ学校生活にも慣れてきた頃だだと思いますので、自分のペースをしっかりと保って高校での生活を充実させてください。3年生は成年年齢に達する人が増えてきます。自覚を持ち責任ある行動をとれるよう頑張ってください。

梅雨に入り湿度の高い暑苦しい日が続きます。新型コロナウイルス感染防止対策も意識を高め、熱中症対策と共に体調管理に努め1学期のまとめをしっかりとしていってください。よろしくお願いします。